

令和元年度

東京大学附属図書館自己点検評価報告書
(平成 25 (2013) 年度～平成 30 (2018) 年度)

令和 2 年 3 月

東京大学附属図書館
(令和 3 年 3 月一部修正)

目次

I はじめに	1
II 附属図書館の活動～平成 25(2013)年度から平成 30(2018)年度の概況～	2
1 新図書館計画	2
2 学習支援機能:学習環境の整備	2
2.1 開館時間	
2.2 利用状況	
2.3 学習用図書 of 整備	
2.4 資料の取り寄せ	
2.5 レファレンスサービス	
2.6 情報リテラシー教育	
2.7 障害者支援(視覚障害等のある方向け資料提供サービス)	
2.8 ハーバード大学図書館との訪問利用に関する協定	
3 研究支援機能:学術情報基盤の整備	9
3.1 全学共通経費による基盤的学術雑誌などの整備	
3.2 電子リソースの整備	
4 保存・情報発信機能:資料の保存と研究成果の発信	10
4.1 蔵書・コレクション	
4.2 所蔵資料の電子化	
4.3 デジタルアーカイブズ事業	
4.4 目録データの遡及入力事業	
4.5 柏図書館及び総合図書館別館自動書庫の入庫及び利用状況	
4.6 機関リポジトリ	
5 社会貢献・社会連携	13
5.1 催し物	
5.2 友の会	
5.3 他の大学図書館との連携・協力	
6 組織・運営	15
6.1 組織と職員	
6.2 予算・経費	
6.3 全学資料購入集中処理	
6.4 図書資産の実査	
6.5 施設の整備	

III 附属図書館の評価	18
1 学習支援機能:学習環境の整備	18
2 研究支援機能:学術情報基盤の整備	18
3 保存・情報発信機能:資料の保存と研究成果の発信	18
4 社会貢献・社会連携	19
5 組織・運営	19
IV まとめと今後の課題	20
新図書館計画年表(組織, 工事・施設, その他)	21
用語解説	22
平成 25(2013)～30(2018)年度東京大学附属図書館統計表	26
自己点検評価実施委員会委員	32

I はじめに

東京大学附属図書館は附属図書館基本規則に規定しているように「共働する一つのシステム」の原理のもと、本郷、駒場、柏の3キャンパスの拠点図書館に位置付けられている、総合図書館、駒場図書館、柏図書館に各部局に置かれた図書館・室を合わせた、東京大学内の全図書館を意味する。この報告書は東京大学附属図書館自己点検評価報告書と題しているものの、主として、3つの拠点図書館における平成25(2013)年度から平成30(2018)年度まで6年間の活動を対象としており、平成25(2013)年度に平成19(2007)年度から平成24(2012)年度までを対象に作成した報告書に続いてのものである。

前回と同様、点検評価の中心は3つの拠点図書館とし、特に必要のある事項については、各部局の図書館・室についても点検評価の対象とする。

東京大学附属図書館では毎年「附属図書館活動報告書」を作成し、平成16(2004)年度以降の版を https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/publication/annualreport/bn_katsudo で公開しているが、前回の平成19(2007)年度から平成24(2012)年度まで、今回の平成25(2013)年度から平成30(2018)年度までを対象とした自己点検評価報告書は、一定の期間を対象とすることにより、東京大学附属図書館の諸活動と、大学あるいは大学図書館が進むべき方向との適合性の確認が容易になる。

大学図書館が進むべき方向という観点では、国立大学図書館協会が平成28(2016)年度に「国立大学図書館機能の強化と革新に向けて：国立大学図書館協会ビジョン2020」(<http://www.janul.jp/sites/default/files/2018-05/janul-2020vision.pdf>)を採択し、3つの重点領域を立て、それぞれの領域での目標を掲げているが、東京大学附属図書館の諸活動を当該ビジョンに重ね合わせたとき、不十分と言わざるをえない点が多々存在する。これが、東京大学附属図書館が進もうとする方向と、大学図書館が進むべき方向との間の隔たりによるものか、あるいは別の要因によるものか、このような点検評価を通じて、分析、是正していく必要がある。

他方、大学が進むべき方向という観点では、東京大学は平成27(2015)年度に「東京大学ビジョン2020」(<https://www.u-tokyo.ac.jp/content/400035564.pdf>)を掲げている。これは4つの柱と、それぞれに対応したアクションを立てたものであるが、附属図書館としては、「ビジョン1：[研究]新たな価値創造に挑む学術の戦略的展開」「アクション1 [研究]」の「③学術の多様性を支える基盤の強化」などの中で複数の事業を動かしており、概ね順調に進めてきている。

それらの事業の1つである新図書館計画については、本報告書の対象期間である平成25(2013)年度から平成30(2018)年度が、まさしく新図書館計画が実行に移った期間である。したがって、多数の関連業務を行っており、業務全般における比重も大きいものとなっていたが、本報告書においては、新図書館計画に伴う活動に関する記述が過度になることのないように努めた。

II 附属図書館の活動 ～平成 25(2013)年度から平成 30(2018)年度の概況～

評価対象期間(平成 25(2013)年度から平成 30(2018)年度まで)における附属図書館の活動を各年度の「附属図書館活動報告書」の記述を整理しつつ、「新図書館計画」「学習支援機能」「研究支援機能」「保存・情報発信機能」「社会貢献・社会連携」「組織・運営」の観点から概況を記述する。

1 新図書館計画

本郷キャンパスの文系部局の書庫狭隘化の解決、総合図書館の耐震改修・機能向上のため、準備期間を含めると平成 22(2010)年度から検討が始まり、平成 25(2013)年度に新図書館計画推進室を設置し、平成 29(2017)年度まで、新図書館計画の推進に付随する様々な業務を行った。

計画の 1 つとして、「アジア研究図書館」の設置がある。これは、アジア研究の拠点とするべく、学内に散在するアジア研究資料を集約するというもので、総合図書館の中に設置する計画であるが、その実現に向けて、平成 26(2014)年度にアジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門(U-PARL: Uehiro Project for the Asian Research Library)を置いている。

別館の工事が平成 26(2014)年度から始まり、平成 27(2015)年度には本館の耐震改修工事も始まっている。別館は平成 29(2017)年 5 月に竣工し、地下 1 階のライブラリープラザは同年 7 月から、地下 2 階から地下 4 階の自動書庫は平成 30(2018)年 2 月から運用を開始した。なお、ライブラリープラザは、当初、学習スペースとして供用したが、平成 30(2018)年 10 月からアクティブラーニングスペースとしている。

新図書館計画は「東京大学ビジョン 2020」の「ビジョン 1: [研究]新たな価値創造に挑む学術の戦略的展開」「アクション 1 [研究]」「③学術の多様性を支える基盤の強化」の具体的取組の 1 つである。

なお、新図書館計画年表を巻末に付した。

2 学習支援機能:学習環境の整備

2.1 開館時間

(1) 総合図書館

平成 30(2018)年度の開館時間は、4 月から 7 月、9 月から 2 月は平日 8:30 から 22:30、土・日・休日 9:00 から 19:00、8 月、3 月は平日 8:30 から 21:00、土・日・休日 9:00 から 17:00 までである。

なお、平成 29(2017)年 5 月に竣工した別館の地下 1 階ライブラリープラザを同年 7 月から供

用しているが、月例閉館日を本館の月例閉館日とずらし、完全閉館日の縮小を図っている。

(2) 駒場図書館

平成 30(2018)年度の開館時間は、平日は学期中 8:30 から 22:00、夏季及び春季休業期間は平日 8:30 から 20:00、冬季休業期間は 8:30 から 17:00 である。土・日・休日は 9:00 から 19:00、定期試験期間は 9:00 から 22:00 である。

平成 25(2013)年度まで、平日の開館は学期中 8:40 から、土・日・休日は 10:00 から、春季休業期間の平日は 17:00 閉館、土・日・休日は閉館日としていたが、平成 27(2015)年 12 月から開館時刻を平日 8:30 から、春季休業期間を除く土・日・休日は 9:00 からとした。さらに、平成 30(2018)年度から春季休業期間の開館時間を平日は 8:30 から 20:00、土・日・休日は 9:00 から 19:00 とすることで、図書館の利便性が向上し、学生の学習環境も向上した。

(3) 柏図書館

平成 30(2018)年度の開館時間は、8 月、9 月、3 月を除き、平日が 9:00 から 21:00、土曜日が 10:00 から 17:00、8 月、9 月、3 月は、平日が 9:00 から 17:00、土曜日は休館としている。なお、日・休日は通年で休館である。

2.2 利用状況

期間中の入館者数を表 1 に示した。期間中、駒場図書館と柏図書館は大きな増減はないと評価できる。総合図書館については、平成 27(2015)年度から閲覧室等が工事区画となり、館の西側及び中央部分の工事が終了する平成 29(2017)年度まで減少傾向にある。

総合図書館の改修工事は平成 26(2014)年度から開始されたが、工事区

画が閲覧室や書庫に及ぶ平成 27(2015)年度には、所蔵資料が利用可能な環境を整えるとともに、学習スペースを安田講堂、医学部 1 号館などに確保した。なお、表 1 に安田講堂等の利用者は含まない。

平成 29(2017)年 5 月には別館(ライブラリープラザ)が竣工し、7 月から本館改修工事による閲覧スペース不足を補うため、学習スペースとして利用に供した。「総図」の「H29」「H30」の下段に示した数値は別館(ライブラリープラザ)の入館者数であり、この数値は「合計」にも含んでいる。なお、別館(ライブラリープラザ)は、平成 30(2018)年 10 月に会話ができるアクティブな学習空間と

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	543,942	692,013	39,947	1,275,902
H26	476,316	682,367	40,905	1,199,588
H27	440,082	674,853	41,854	1,156,789
H28	398,114	703,120	35,726	1,136,960
H29	248,641 +73,365	693,600	39,055	1,054,661
H30	347,347 +101,200	672,408	39,634	1,160,589

してリニューアルオープンしている。

総合図書館別館を含めた平成 30(2018)年度の入館者数は、回復傾向にはあるものの、本格的な工事を行う前の平成 25(2013)年度の水準まで回復しておらず、更に利用促進に努める必要がある。

期間中の資料の貸出数を表 2 に示したが、3 館とも概ね横ばいと評価できる。「総図」の「H29」に落ち込みが見られるが、これは閲覧スペースが集中している中央部分で耐震改修工事を行った影響と考えられる。開架図書は西側部分に移動させて全てを利用可能な状態としたものの、入館者数の減少に伴い貸出数も減少したものとされる。

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	134,771	174,663	32,550	341,984
H26	122,374	174,507	32,681	329,562
H27	153,479	169,298	35,669	358,446
H28	147,411	169,064	31,746	348,221
H29	114,924	165,941	31,822	312,687
H30	135,076	171,140	29,227	335,443

2.3 学習用図書の整備

期間中の学習用図書及び留学生向け図書の受入数を表 3 に示す。各年度の上段の数値が学習用図書、下段括弧内の数値が留学生向け図書の受入数である。ただし、「駒図」の「H26」の下段については学習用図書として導入した電子書籍分で、学習用図書の「合計」に含まれる。

平成 20(2008)年度から継続して措置されている学術基盤経費により、総合、駒場、柏図書館で学習用図書を購入しており、図書の選定に際しては、教員からの推薦、図書館職員による選定のほか、学生自身の観点を活かすため、学部学生から選考されたジュニア・スタッフによる選書を実施している。

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	6,213 (104)	6,081	2,654 (285)	14,948 (389)
H26	6,551 (132)	4,867 +431	1,687 (42)	13,536 (174)
H27	6,441 (21)	5,229	1,772 (72)	13,442 (93)
H28	4,874 (32)	4,814	1,345 (91)	11,033 (123)
H29	4,496 (20)	4,520	1,582 (81)	10,598 (101)
H30	4,449 (12)	4,427	1,461 (54)	10,337 (66)

2.4 資料の取り寄せ

(1) 学内配送

他キャンパスにある図書館・室の資料を取り寄せるサービスは、全学の教職員、学部学生、大学院学生を対象とし、Web で資料検索してそのまま直接申し込みできるようになっている。平成 26

(2014)年度まで年々利用が増加していたが、このサービスが定着した近年は、一定数を保っている。平成 30(2018)年度 of 取寄せ冊数は、49,636 冊、取寄せのほか、図書の返送のみの利用も含めると112,540 冊の利用に上り、学内の図書資源共有に不可欠なサービスとして定着している。

なお、直接来館が困難な障害のある利用者や、演習林等の遠隔地附属施設所属者に対して、依頼先がホームライブラリ(教員や学生が所属する部局の図書館・室)と同一キャンパス内であっても取寄せサービスを行っている。また、平成 28(2016)年 7 月から、弥生・本郷地区間の取寄せ・返却サービスを開始した。

(2) 文献デリバリ(旧学内 ILL, e-DDS)

平成 16(2004)年度末から開始された e-DDS(PDF ファイル閲覧)サービスは、規模の大きな図書館・室のほとんどが受付対応館となっており、また、学内からの複写物の取り寄せ(学内 ILL)についても e-DDS と同様、利用者が所属図書館・室を介さずに直接所蔵館に申し込む方式であり、文献デリバリとして両者は統合されたサービスとなっている。

(3) 学外 ILL

学術情報を特定の機関のみが網羅的に収集することは不可能であり、東京大学においても、他機関からの図書借受、複写文献の取寄を行うとともに、他機関への図書貸出、複写文献の提供を行っている。

期間中の図書借受件数を表 4 に、複写取寄せ件数を表 5 に示す。

図書の貸借、複写文献の授受ともに全国的に減少傾向にあり、その最大の理由は電子リソースの普及とされているが、その傾向が 3 館ともに現れている。

特に、図書借受については、「総図」の「H30」の件数が僅か 3 件となっている。また、複写取寄せについても、「総図」の「H30」の件数が「H29」の半数以下となっている。これは、グローバル ILL(GIF)の日本・北米間のサービスが平成 30(2018)年 3 月で終了しており、それまで総合図書館がまとめて行っていた東京大学全体の依頼がなくなったことが影響したものと考えられる。

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	73	780	30	883
H26	50	872	22	944
H27	48	880	24	952
H28	43	650	29	722
H29	38	684	32	754
H30	3	632	33	665

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	118	1,370	97	1,585
H26	152	1,092	56	1,300
H27	104	857	41	1,002
H28	139	886	43	1,068
H29	82	689	38	809
H30	28	658	28	714

一方、期間中の他機関への図書貸出件数を表 6 に、複写提供件数を表 7 に示す。

全体として、図書の貸出件数は減少傾向にあるが、複写提供件数は概ね安定していると評価できる。

総合図書館の複写提供件数は「H30」を除き漸増しているが、これは東京大学が契約している豊富な電子リソースに対する複写希望が増加していることによるものと推察される。なお、「H30」の件数が減少したのは、耐震改修工事に伴い、約 1 か月、資料移動作業による臨時閉館のため、ILL 受付業務を停止したことによるものと考えられる。

ISO ILL プロトコル変更に伴う現行制度の見直しにより、上述のように、海外図書館とのグローバル ILL (GIF)のうち、日本・北米間の ILL は平成 30(2018)年 3 月を以てサービスを終了した。GIF プロジェクト終了後の海外 ILL は各図書館・室ごとで対応することとなったが、参考のため、総合図書館で GIF プロジェクト終了後に予定している海外 ILL 受付方法・料金決済方法等も案内している。

なお、日本・韓国間の ILL は平成 30(2018)年 4 月以降も運用されるが、2022(令和 4)年 3 月末を目途に終了することで韓国教育学術情報院(KERIS)と合意しており、今後の対応の検討が課題となっている。

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	365	390	20	775
H26	278	346	25	649
H27	317	346	46	709
H28	213	427	38	678
H29	218	375	45	638
H30	141	286	31	458

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	2,121	853	989	3,963
H26	2,370	849	956	4,175
H27	2,217	741	773	3,731
H28	2,559	652	538	3,749
H29	2,650	744	725	4,119
H30	2,308	688	719	3,715

2.5 レファレンスサービス

(1) ASK サービス

Web で参考調査質問を申し込み、質問内容に応じて最も適した図書館・室が調査回答する ASK サービスは、試行サービス 1 年余を経て、平成 18(2006)年 8 月から正式サービスとして位置付けられた。

ほとんどの図書館・室が参加するサービスとなっており、年間 350 件以上の質問を受け付けている。システムで公開された回答事例も約 600 件を数え、参考業務の重要な柱をなしている。

なお、平成 26(2014)年度から国立国会図書館「レファレンス協同データベース」への ASK に蓄積されたレファレンス事例の入力を開始し、他図書館との連携を図るとともに、事例を広く社会に公開した。

(2) レファレンス受付

期間中のカウンター、電話、FAX、メールによるレファレンスの受付件数を表 8 に示す。

総合図書館の件数が平成 29(2017)年度で激減しているが、件数のカウント方式を、レファレンスの内容が複数の質問である場合も同一の利用者から同時に受けた質問は 1 件とカウントするようになったことが大きく影響している。

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	1,991	3,496	950	6,437
H26	2,471	3,514	970	6,955
H27	2,018	2,992	950	5,960
H28	2,180	2,489	783	5,452
H29	777	3,463	770	5,010
H30	781	2,072	783	3,636

(3) 附属図書館利用ガイド

附属図書館では、毎年、初めて東京大学を利用する東大構成員に向けて OPAC や電子ジャーナルの利用方法など全学に共通するサービスを紹介する「附属図書館利用ガイド」を日英両言語で作成し、入学式などで配布している。平成 30(2018)年度からリーフレット形式に再構成し、利用及び作成の利便性を高めた。

2.6 情報リテラシー教育

期間内のガイダンス等件数を表 9 に示す。上段に回数、下段括弧書に参加者の延べ人数を示した。平成 27(2015)年度に駒場図書館の回数が増えていることに伴って、それ以降の回数と延べ人数が増えているが、安定した参加があると評価できる。

(1) 総合図書館

例年、春季・秋季に新規利用者等を対象に、① 図書館利用案内、② 館内・書庫案内、③ 本や論文の探し方を内容とした説明会を実施しており、③に関しては、情報システム部情報基盤課学術情報チームの全面的な協力を得ているほか、毎月、同チームの主催で各種データベース講習会、テーマ別講習会を実施している。

留学生に対しては、引き続き各研究科で留学生オリエンテーションを実施する部署と連携し、以下のとおり日本語または英語による図書館利用説明を行っている。

年度	総図	駒図	柏図	合計
H25	11 (183)	74 (1,383)	22 (800)	107 (2,366)
H26	14 (166)	68 (1,326)	40 (894)	122 (2,386)
H27	14 (179)	107 (1,728)	29 (815)	150 (2,722)
H28	16 (219)	111 (1,964)	37 (914)	164 (3,097)
H29	16 (180)	107 (1,948)	37 (835)	160 (2,963)
H30	18 (202)	100 (2,016)	32 (808)	150 (3,026)

(2) 駒場図書館

前期課程科目の授業との連携と、英語のみで学位取得が可能な PEAK (Programs in English at Komaba: 教養学部英語コース)等の授業を対象に行っていることを特色としている。

授業との連携については、担当教員との協働で、情報システム部情報基盤課学術情報チームの協力を得つつ、情報検索の教材作成や実習を行っている。また、平成 29(2017)年度から「図書館の学び・活用・提案」が開講され、同科目との連携は、図書館の認知度を高める機会にもなっている。

後者については、PEAK 後期課程進学予定者向けに、図書館利用に関するガイダンスを英語で行っている。また、GPEAK (Graduate PEAK) や USTEP (University-wide Student Exchange Program: 全学交換留学プログラム) 及び KOMSTEP (KOMaba Student Exchange Program: 総合文化研究科・教養学部交換留学) といった交換留学プログラム学生を対象に図書館ツアーを開催しており、説明資料の作成や、同活動の支援に携わる学生スタッフへの事前チュートリアルを行っている。

(3) 柏図書館

柏図書館では、大学院新領域創成科学研究科と協力し、4月及び9月に入学した大学院生へのガイダンスを実施し、同時期には図書館内を各自で巡ることで図書館の使い方を知ることができるセルフツアーを開催している。また、授業期間には情報システム部情報基盤課学術情報チームの協力を得て、定期的に「柏図書館オンラインサービスセミナー」と題した各種データベースや文献管理ツールを紹介する講習会を実施している。

2.7 障害者支援(視覚障害等のある方向け資料提供サービス)

バリアフリー支援室の協力を得つつ、総合図書館、駒場図書館、柏図書館で平成 28(2016)年度は施行期間として 95 件の資料電子化を行った。

該当者の在籍の有無により件数が変動するが、平成 29(2017)年度は総合図書館で 41 件、駒場図書館で 41 件、平成 30(2018)年度は総合図書館で 66 件、駒場図書館で 3 件となっている。

2.8 ハーバード大学図書館との訪問利用に関する協定

東京大学附属図書館とハーバード大学図書館との間における図書館訪問利用に関する協定書が平成 27(2015)年 10 月に発効した。双方の大学の教員(常勤)、学部学生、大学院学生は、所属大学の身分証明書(職員証・学生証)の提示により、協定書別紙に掲げる図書館(本学、ハーバード大学併せて 27 館)の訪問利用が可能になっている。なお、施設利用、閲覧、レファレンスは無償、複写は有償である。

3 研究支援機能: 学術情報基盤の整備

3.1 全学共通経費による基盤的学術雑誌などの整備

学術雑誌やデータベースなどの学術情報は、学術研究・教育活動にとって必須の基盤であり、それを蓄積維持することは、リーディングユニバーシティとして東京大学が担う社会的責任の一つであるとの趣旨により、平成 19(2007)年度から新たな学内施策として全学共通経費制度を設けている。第 1 期(平成 19(2007)年度～平成 23(2011)年度)、第 2 期(平成 24(2012)年度～平成 27(2015)年度)を経て、現在、第 3 期(平成 28(2016)年度～令和 2(2020)年度)を迎えている。

本制度の整備対象となる資料は、基盤的学術雑誌(冊子及びバックファイルを含む電子ジャーナル)、データベース及び大型コレクションである。財源として部局負担額(部局の予算規模と構成員数に基づき算出)と本部からの全学的資金から毎年財源(11.5 億円)を確保し、総合図書館(附属図書館事務部)で一括して契約事務を執り行うことで学内の契約・支払い業務の合理化・効率化を推進している。

第 3 期への移行に際しては、外国雑誌等の継続的な価格上昇に加え、急激な円安と海外事業者から提供される電子リソースへの消費税課税により必要経費が大幅に増加したことにより、従来の全学共通経費の財源では不足が生じることとなった。そのため、全学調査に基づき整備対象資料の精査・資料選定方針の見直しを行うとともに、必要総額と部局負担額の差額(不足額)を契約担当部署である総合図書館(附属図書館)へ一括して 2 次配分する新たな予算制度を定めることで、整備対象資料の安定的確保を実現した。

現在は、2021(令和 3)年度から始まる第 4 期に向けて対象資料に係る調査を実施し、予算規模や資料選定方針等の検討を行っている。

学術雑誌購読費への対応は「東京大学ビジョン 2020」の「ビジョン 1: [研究] 新たな価値創造に挑む学術の戦略的展開」「アクション 1 [研究]」「③学術の多様性を支える基盤の強化」の具体的取組の 1 つである。

3.2 電子リソースの整備

平成 30(2018)年度における全学共通経費により提供されている電子リソースは、電子ジャーナル 10,151 タイトル、データベース 65 件である。加えて総合図書館や各部局図書館等の資料費により、電子ブック 31,230 タイトルも整備している。なお、電子ブックについては、シラバス掲載タイトルの購入を積極的に進めており、上記タイトルのうち、約 2,700 タイトルのシラバス掲載図書が電子ブックで利用可能となっている。これらの電子リソースの検索を効率的に行えるツールとして、E-Journal & E-Book ポータルを導入しているほか、学外からこれらの電子リソースを利用可能とするサービスとして、情報システム本部の「認証 GW サービス」及び情報基盤センターの「SSL-VPN Gateway サービス」を利用し利用環境の充実を図っている。

平成 26(2014)年度からは、電子ジャーナル・電子ブック・各データベースに収録された論文情

報等の電子リソースを統合的に検索できるディスカバリーサービス TREE を導入、従来の東京大学 OPAC(紙の雑誌・図書)に加えて多様な電子リソースの検索から文献の入手まで一元的に行えるよう利用環境の改善をはかった。さらに試読可能な電子ブックサービスも導入するなど電子書籍のさらなる普及に努めている。

4 保存・情報発信機能:資料の保存と研究成果の発信

4.1 蔵書・コレクション

期間内の附属図書館全体の蔵書数を表 10 に示す。

同表のとおり、平成 30(2018)年度末の蔵書数は 9,745,659 冊(和書 5,213,680 冊、洋書 4,531,979 冊)で、国内では国立国会図書館に次ぐ規模である。このうち洋書は 46.5%を占めている。

電子ブックは総合図書館及びその他の図書館・室で購入した 31,230 タイトル(表 10 の所蔵数には含まない。)を全学に提供している。

また、所蔵雑誌種類数は冊子が 169,875 タイトルで、電子ジャーナルは 10,151 タイトル(アグリゲータ系も含めると 29,421 タイトル)である。

なお、全学共通経費に大型コレクション購入枠を設け、通常の経費では購入できない高額資料を購入している。全学からの推薦をもとに附属図書館で購入候補資料を選定し、図書行政商議会で購入を決定している。平成 25(2013)年度から平成 30(2018)年度までの 6 年間でデータベースや電子アーカイブ等 17 件の大型コレクションを購入し、平成 19(2007)年度からの累積で 32 件のコレクションが全学的に利用可能となっている。

年度	和書	洋書	合計
H25	4,944,086	4,405,960	9,350,046
H26	5,008,675	4,442,134	9,450,809
H27	5,055,179	4,485,943	9,521,122
H28	5,103,602	4,473,659	9,577,261
H29	5,167,748	4,498,064	9,665,812
H30	5,213,680	4,531,979	9,745,659

4.2 所蔵資料の電子化

電子化作業及びその公開は、従来から附属図書館及び情報基盤センターとの協働により貴重図書のデジタル化などを進めてきたが、特に平成 26(2014)年度からは国文学研究資料館を中心とした事業「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に国内拠点大学として参画し、新日本古典籍総合データベースの構築に向けて、国内古典籍の電子化および書誌情報の整備等について検討を行うとともに、平成 27 年度から電子化を開始した。

本事業で電子化した代表的な資料には、「鶉軒文庫」(総合図書館)、「木谷文庫」「資源科学研究所本草書」(駒場図書館)などがあり、平成 29(2017)年度以降は、後述のデジタルアーカイブ

ズ構築事業により、電子化及び情報発信を進めている。

4.3 デジタルアーカイブズ構築事業

「東京大学ビジョン 2020」に、「東京大学が保持する学術資産のアーカイブを構築し、その公開と活用を促進することで、学術の多様性を支える基盤を強化する。」という方針が示され、平成 28 (2016)年度に全学委員会として「東京大学学術資産等アーカイブズ委員会」が設置された。

附属図書館は同委員会の事務局を担い、「ビジョン 1: [研究]新たな価値創造に向かう学術の戦略的展開」「アクション 1 [研究]」の「③学術の多様性を支える基盤の強化」への具体的な取り組みとして、学術資産のアーカイブ化事業を開始した。なお、デジタルアーカイブズ構築事業の目的は「東京大学に散在・潜在する学術資産のコレクションやデータベースを可視化する」「東京大学の学術資産へのアクセス窓口を多角的にネットワーク化する」の 2 項目としている。

平成 29 (2017)年度からは学術資産等アーカイブズ委員会のもと、デジタル化対象資料を公募・選定するデジタルアーカイブズ構築事業を開始するとともに、附属図書館内に学術資産アーカイブ化推進室を設置し、平成 29 (2017)年度は 8 部局 8 事業、平成 30 年度は 11 部局 13 事業を実施した。

本事業によりアーカイブ化した資料には、「田中芳男・博物学コレクション」「東京帝国大学五十年史料」(総合図書館)、「明治新聞雑誌文庫所蔵宮武外骨蒐集資料」(明治新聞雑誌文庫)、「文部省往復」(文書館)などがあり、CC-BY 相当の利用条件としている。アーカイブ化の効果を実証するには、なお時間を要するが、アーカイブ化以前には、例年、10 回前後あった田中芳男・博物学コレクションに含まれる「摺拾帖」の閲覧申込が、平成 30 (2018)年度は 1 回のみとなっている。

その他、平成 29 (2017)年度には東京大学学術資産等アーカイブズリンク集を公開し、平成 30 (2018)年度には東京大学学術資産等アーカイブズポータルを令和元 (2019)年度に公開するべく仕様書の策定と発注・導入を行った。また、年に 1 回、デジタルアーカイブに関する公開セミナーを開催している。

なお、当事業では「東京大学学術資産等アーカイブズ共用サーバ(画像公開サーバ)」を設置し、公開基盤システムを持たない部局等への画像公開支援や既存の電子化コレクションのリニューアル公開を行っており、いずれも IIF (トリプルアイエフ: International Image Interoperability Framework) 対応での公開としている。

4.4 目録データの遡及入力事業

目録カードで整理されていた全学の図書を、OPAC でのオンライン検索を可能とするための全学遡及入力計画を実施しており、遡及入力対象図書 350 万冊(平成 7 (1995)年度)を対象に、第 1 期(平成 7 (1995)年度～平成 16 (2004)年度)では 225 万冊、第 2 期(平成 17 (2005)年度～平成 26 (2014)年度)では 50 万冊、計 275 万冊の入力が完了している。

平成 27(2015)年度からは第 3 期に入り、第 1 期・第 2 期と同様に 10 年計画で未入力資料約 75 万冊の入力を順次進めている。とくに前半の 5 年間は、国文学研究資料館が中心となって推進している「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に伴う「新日本古典籍総合データベース」収録対象となる本学所蔵資料や本学新図書館計画(「アジア研究図書館」「貴重書庫・保存書庫」「自動書庫」)に関連する総合図書館所蔵資料(古文書・貴重書・未登録の製本雑誌等)の入力を優先的に行っている。

期	年度	総図	各部局	合計
第 2	H25	12,608	44,605	57,213
	H26	18,432	42,626	61,058
第 3	H27	12,089	21,719	33,808
	H28	14,285	25,571	39,856
	H29	22,150	19,967	42,117
	H30	17,460	27,509	44,969

なお、期間内の遡及入力件数を表 11 に示す。第 2 期後半以降の入力冊数が減少傾向であるのは、特殊言語資料や和漢書、古典籍などの目録入力の難易度や専門性が比較的高い資料の割合が増えていること、国立情報学研究所が公募していた遡及入力支援事業が平成 24(2012)年度で終了したことなどが背景にある。

4.5 柏図書館及び総合図書館別館自動書庫の入庫及び利用状況

平成 16(2004)年度末に開館した柏図書館は約 100 万冊収容可能な自動書庫を有し、東京大学の自然科学系学術雑誌バックナンバーセンターの機能を担っており、平成 17(2005)年度から平成 24(2012)年度までに他の図書館・室から約 33 万冊の自然科学系雑誌の移管を受けているが、平成 25(2013)年度から平成 30(2018)年度には、さらに約 5 万冊の移管を受けている。

一方、平成 29(2017)年度に竣工した総合図書館別館は、約 300 万冊収容可能な自動書庫を有し、年度内に製本雑誌を中心に約 17 万冊を入庫し、平成 30(2018)年度は約 22 万冊を入庫、5 月から利用に供した。平成 30(2018)年度の入庫済資料の利用は、延べ冊数 23,081 冊、一日平均 107 冊であった。

これらの自動書庫に各図書館・室の資料を収容することにより、各図書館・室の狭隘化解消を図っている。なお、利用者からは自動書庫の通覧性の低さに関する指摘もあり、自動書庫の運用については継続的な検討が必要である。

4.6 機関リポジトリ

東京大学学術機関リポジトリ(UTokyo Repository)とは、東京大学で生産されたさまざまな研究成果を電子的な形態で集中的に蓄積・保存し、学内外に公開することを目的としたインターネット上の発信拠点である。平成 16(2004)年度から情報基盤センター図書館電子化部門(現・情報システム部情報基盤課学術情報チーム)と連携してシステム構築を行い、平成 18(2006)年 4 月 1 日から「東京大学学術機関リポジトリ(旧英語名称: UT Repository)」としてサービス公開を開始し

た。その後、平成 29(2017)年 10 月にシステムを国立情報学研究所が提供するシステムである JAIRO Cloud に移行し、リニューアル公開した。平成 30(2018)年度末で合計 41,200 件が格納されている。

平成 25(2013)年 4 月に博士論文のインターネット公開が義務化され、学位論文の登録数は増加し、平成 30(2018)年度末で 11,024 件となっている。義務化に併せて学位取得者の論文登録をサポートするため、学術情報チームに協力して平成 25(2013)年 12 月に『博士論文と著作権』を作成・公開し、著作権法の改正等に併せて改訂している。

5 社会貢献・社会連携

5.1 催し物

(1) 総合図書館

例年、本郷キャンパスでは「高校生のためのオープンキャンパス」が行われており、総合図書館は、平成 29(2017)年度に完成した別館のライブラリープラザを自由見学及び休憩ができるエリアとして開放している。平成 30(2018)年度は、本館で見学ツアーを実施するとともに、「学部情報まるごとラウンジ」として、別館ライブラリープラザで学部等を紹介するポスターの展示やチラシ等の配布を行った。

平成 23(2011)年度からは新図書館構想を学内外に広報するとともに、トークイベントや企画展示等を継続して実施し、これらのイベントを通じて新図書館構想への理解を得る機会としてきた。

平成 26(2014)年度からは、図書館の教育支援の観点から、学際的なテーマに触れることを目的に、新図書館計画推進室及び学生ボランティア団体(ACS: Academic Commons Supporter)による企画で「ミニレクチャプログラム」が実施された。東京大学フューチャーファカルティプログラム(FFP)を修了した大学院生が講師となり、アクティブラーニングを取り入れた模擬授業を行うことで、学生と職員、あるいは、図書館と大学総合教育研究センター等の学内他部署との共働が生まれ、図書館がより学内に開かれたものとなるための活動として成果を上げた。なお、このプログラムは「東京大学ビジョン 2020」における「ビジョン 2: [教育]基礎力の涵養と「知のプロフェッショナル」の育成」に場を提供するものであり、現在も継続的に実施されている。

また、当初、本館改修工事による閲覧スペース不足を補うため、学習スペースとしていた別館ライブラリープラザを、平成 30(2018)年 10 月から、本来の学習・研究のために交流可能な学習空間とし、平成 30(2018)年度(平成 30(2018)年 10 月～平成 31(2019)年 3 月)に 28 回の各種イベントが実施されている。

(2) 駒場図書館

1 階にある展示コーナーでは、平成 25(2013)年 12 月の「駒場図書館展示ケース利用内規」制

定を機に、駒場図書館主催の企画展示だけでなく、授業や研究、学生団体の活動について、学生が主体的に行う成果発表の場として、活発に利用されている。

平成 27(2015)年 4 月のアジア経済研究所図書館との相互利用に関する覚書締結を記念して、同年 11 月及び 29(2017)年 11 月に同図書館との共催でブックトークイベントを開催した。なお、このイベントには学外からの参加も得ている。

また、「東大駒場友の会」と教養学部との共催で毎年春に行われる「新入生保護者と教養学部長との懇談会」の一環で、キャンパスツアーが行われ、その中で駒場図書館見学ツアーを長年継続実施しており、好評を得ている。

(3) 柏図書館

平成 26(2014)年、開館 10 周年を迎えるにあたり、「科学史」及び「世界結晶年」をメインテーマとした講演会・上映会・企画展示等の記念イベントを展開した。

5.2 柏図書館友の会

柏図書館には、図書館の活動支援や会員相互及び図書館職員との交流促進を図ることを目的とした「柏図書館友の会」が平成 20(2008)年 10 月に設立されている。柏キャンパスが地域連携を推進していることを受けて学外者も入会可能としており、柏市や流山市の市民が多く入会している。会員数は平成 30(2018)年度末で 268 名である。会員は、開架図書の館外貸出や土曜日の施設利用が可能となるほか、「柏図書館友の会ニュース」及び各種イベントの案内が配信される。

イベントとしては、学内者や友の会会員が出演する「わくわくミニコンサート」の主催や、学内外の研究者を招く「サイエンスカフェ」の後援等を平成 26(2014)年度から実施している。

5.3 他の大学図書館との連携・協力

東京大学附属図書館は、国立大学図書館の連合組織である国立大学図書館協会の会長館に継続して選出されており、その活動に中心的に関わっている。また、国立大学図書館協会に加え、公立大学図書館の連合体である公立大学協会図書館協議会及び私立大学図書館の連合体である私立大学図書館協会の 3 団体で構成される国公立大学図書館協協力委員会においても、長く常任幹事館を務め、やはり中心的に関わっている。

また、国立大学図書館協会の下に設置されている各種委員会、国公立大学図書館協協力委員会の下に設置されている各種委員会、その他、国公立大学図書館協協力委員会と国立情報学研究所とで構成される「大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議」の下部組織あるいは関連組織である JUSTICE(大学図書館コンソーシアム連合)、JPCOAR(オープンアクセスリポジトリ推進協会)などに委員を派遣し、それらの組織が掲げる課題の解決に尽力している。

6 組織・運営

6.1 組織と職員

東京大学において「附属図書館」は、3キャンパスの拠点図書館と位置づけられている総合図書館、駒場図書館、柏図書館と各部局の図書館・室の総称であり、統一的組織になっているわけではないが、附属図書館全体の基本政策について全学的見地から審議・決定するため、館長と各部局から推薦された教授から構成された図書行政商議会を置いている。

平成 22(2010)年度から、図書館機能高度化、建築・改修を意図した「新図書館構想」の検討を行い、平成 25(2013)年度には「新図書館計画」とし、実際に工事も行っているが、その柱の 1 つとして、「アジア研究図書館」がある。新図書館計画の実現に向けて、さまざまな部会を置き、それぞれ検討を重ねる中、平成 26(2014)年度にはアジア研究図書館部会を置き、その後、平成 30(2018)年度のアジア研究図書館長の配置、アジア研究図書館運営委員会の設置につながっている。また、平成 26(2014)年度に上廣倫理財団からの寄付を受けアジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門(U-PARL)が設立されている。

図書館の業務を担う職員については、総合図書館と柏図書館の職員は附属図書館事務部に所属しているが、駒場図書館や部局図書館・室の業務を担う職員は各部局の事務部に属している。職員数の管理は部局ごとであり、削減計画の決定は部局によって行われている。

図書系職員(常勤職員)は平成 25(2013)年度の 165 人から 30 年度の 161 人へと 5 年間で 2.4%削減されている。そのような中、世界規模でますます多様化し急速に展開している学術情報流通の状況を職員が共有し、的確に利用者へのサービスを向上していくために、専門的能力の向上及び情報システムの高度化に努めているところである。

6.2 予算・経費

総合図書館及び柏図書館の資料費と運営費は、附属図書館の予算の形で配分され、そこから充当している。ただし、総合図書館と柏図書館に限っても、この予算のみで新規の事業を行うことは困難である。一方、部局図書館・室の資料費と運営費は、基本的にそれぞれの部局の予算から再配分されており、その多寡により、部局図書館・室の整備状況は異なるものとなっている。

全学的な学術情報の基盤となる学術雑誌、電子ジャーナル、データベースについては、「全学共通経費」により整備している。また、総合、駒場、柏の 3 キャンパス拠点図書館の学習用図書に関しても、大学からの継続的な予算措置がなされている。

なお、「新図書館計画」遂行のため、本部社会連携部の協力を受け、東京大学基金「新図書館計画「アカデミック・コモンズ」」として平成 24(2012)年度末から寄付を募っている。その総額は平成 30(2018)年度末で、1,007,952,964 円に達し、アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門の運営、資料収集、什器類の購入等に充てているが、当初の目標額である 40 億円とは隔たりのある状況である。

駒場図書館は部局図書館である総合文化研究科図書館の機能も有しているため、その運営費は総合文化研究科から配分を受けている。資料費については、前述の大学から措置される学習用図書費に加え、こちらも総合文化研究科から措置されている。学習環境向上のため開館時間の延長等を行ってきているが、それが運営費逼迫の一因となっており、情報アクセス環境の改善や、利用者用及び業務用の設備機器類の更新が進まないという課題が生じている。

6.3 全学資料購入集中処理

平成 16(2004)年度から各図書館・室で購入している図書資料を全学で共同購入することにより経費節減と効率化をはかるため全学資料購入集中処理システムを導入した(第 1 ステージ)。これは書店からの請求書受理と書店への支払を集中化・一元化することで書店の負担を軽減するとともに、通常よりも大きな割引率での購入を実現することで東京大学全体の資料購入費を節減する仕組みである。平成 20(2008)年度からは、第 2 ステージとして図書館を通さずに研究室などで購入されている図書についても第 1 ステージと同様の有利な条件で購入できるようにした。

参加書店は、第 1 ステージで 21 書店、第 2 ステージで 18 書店である。平成 25(2013)年度から平成 30(2018)年度までの取扱総額は約 15.8 億円であり、評価期間中の 6 年間で約 7,760 万円の節減となった。

6.4 図書資産の実査

平成 17(2005)年度から蔵書数に応じて 5 年または 10 年で 1 巡できるように実施している。拠点図書館は 10 年周期で平成 26(2014)年度に 1 巡目を終了した。1 巡目での不明図書は、総合図書館 2,371 点、駒場図書館 1,037 点、柏図書館 16 点であった。2 巡目、平成 30(2018)年度まで 4 年間の不明図書は、総合図書館 395 点、駒場図書館 813 点、柏図書館 13 点である。

不明となった図書については、翌年度の再調査の手順を経て、なおも不明である場合、除籍などの手続を行っている。

6.5 施設の整備

平成 25(2013)年度末から図書館団地(総合図書館・情報学環・社会科学研究所・教育学部・史料編纂所及び法学政治学研究科明治新聞雑誌文庫)の耐震改修工事を開始した。範囲が広範に及ぶことから 4 期に分けて実施しており、令和 2(2020)年度終了の予定である。

(1) 総合図書館

平成 25(2013)年度末から本館耐震改修工事および別館新営工事を開始した。本館は開館しながらの改修となったため、資料を学内外に分散して待避させた。中央部分改修工事期間中は学

内複数箇所に学習スペースを設けて学生の便宜を図った。平成 30(2018)年 5 月、本館中央部分での利用者サービス等を再開している。

別館は、地下 1 階をライブラリープラザ、地下 2 階から地下 4 階を自動書庫として建設し、平成 29(2017)年 5 月に竣工、7 月からライブラリープラザの運用を開始した。ライブラリープラザは当初、総合図書館中央部の工事のため学習スペースとして利用し、平成 30(2018)同年 10 月、アクティブラーニングスペースとしてリニューアルオープンした。

自動書庫は、環境整備を経て平成 30(2018)年度 2 月に出納を開始し、平成 30 年度末時点で約 39 万冊の図書資料が格納された。今後はアジア研究図書館資料、人文社会系部局図書館資料(製本雑誌)の移管を実施する計画である。

(2) 部局図書館・室

期間内に行われた部局図書館・室の改修工事等を以下に列記する。

- ・文学部 2 号館図書室耐震工事(平成 26(2014)年度)
- ・工 4 号館図書室改修工事(平成 26(2014)～27(2015)年度)
- ・情報学環附属社会情報研究資料センター書庫耐震工事(平成 26(2014)～27(2015)年度)
- ・社会科学研究所図書室(平成 26(2014)～28(2016)年度)
- ・医科学研究所図書室耐震工事(平成 27(2015)～29(2017)年度)
- ・教育学部耐震改修工事(平成 28(2016)～29(2017)年度)
- ・理学部(平成 28(2016)～29(2017)年度)、6 つの専攻図書室を統合。

III 附属図書館の評価

1 学習支援機能:学習環境の整備

総合図書館は平成 25(2013)年度から本館の耐震改修工事のほか、平成 26(2014)年度から別館の新築工事を行っている。本館の耐震改修工事はエリアを分けて順次行うことで全面的に利用できないという状態は回避しているが、利用可能なエリアを縮小している。学内の各所の協力により、学習スペースを確保するほか、平成 29(2017)年度に別館が竣工し、暫定的に学習スペースとして供用して、本館のエリア縮小に対応した。なお、本館の工事は令和 2(2020)年度中頃に完了する予定である。

学生用図書の実態については、予算が減少傾向にあることと資料の価格が上昇傾向にあることとに伴い、受入数は減少している。また、東京大学では各学部等に図書館・室があり、ILL は利用者の所属する学部等の図書館・室が窓口となることを原則としている。そのため、学生が所属しない総合図書館の ILL 依頼件数は元々多くない。

レファレンスの件数は減少傾向が見てとれるものの、ガイダンスは回数、参加人数ともに安定している。ただし、総合図書館に関しては、本郷地区において、利用者が所属する学部等の図書館・室を当該利用者の主たる図書館・室としていることから、参加人数が限られている。

障害者支援は拠点図書館が対応することとしている。支援を必要とする利用者の在籍数に影響を受けやすいが、今後、増えるものと予想される。

2 研究支援機能:学術情報基盤の整備

電子ジャーナルの経費の確保は、国内の大学に限らず、海外の大学においても大きな課題となっている。東京大学では電子ジャーナルやデータベースについて、4～5 年を区切りとする全学共通経費制度を設けて捻出しており、本評価期間は第 2 期の途中から第 3 期の途中にあたり、第 3 期は令和 2(2020)年度までとなっている。平成 30(2018)年度には第 4 期の検討を始め、第 4 期は第 3 期と比較し、タイトル数を大きく削減しない方向での検討を進めている。

大型コレクションも全学共通経費に枠を設け、主に人文・社会科学系の電子化された重要文献のうち、単独の学部等では整備が困難なものを選定の上、整備している。

電子ブックはシラバス掲載図書を中心に徐々に整備をしているが、必ずしも利用者の認知度は高くないと考えられる。利用者の認知度を上げるためには、まだまだタイトル数が不足しているが、国内の電子ブックに関しては出版社や書店の違いにより、使用方法等が異なっており、そのため利用者から敬遠されている側面もあると考えられる。

3 保存・情報発信機能:資料の保存と研究成果の発信

これまで学術情報の流通に紙という媒体が大きな役割を果たしてきたが、1990 年代後半には電子的な流通が普及しはじめ、現在も割合が増えている。東京大学附属図書館は 10 百万冊に迫る蔵書を有するが、これらの蔵書の中には東京大学附属図書館以外には所蔵がない資料もあり、貴

重な紙の資料を保存しつつ、電子の資料に関する環境の充実に努めている。

紙の資料に関しては、柏図書館の約 100 万冊収容可能な自動書庫に続き、総合図書館に約 300 万冊収容可能な自動書庫を有することにより、保存空間の課題に関しては一定の解決をみた一方、自動書庫の維持管理に必要な経費の工面という新たな課題も生じている。また、電子の資料に関しては、資料費の工面が他大学と同様に課題である。

東京大学附属図書館以外には所蔵がないような資料に関しては、電子化して利用促進に努めているが、これに関しても長期的な電子化経費の確保、公開設備の維持管理費の工面が課題である。

4 社会貢献・社会連携

学外者の図書館利用に関する要望は強いものと認識しているが、特に、総合図書館、駒場図書館については、人口が集中する区域に立地していることから、無制限に開放した場合に学内者の利用に支障をきたす可能性があり、ある程度、抑制的に開放せざるをえない部分がある。その中で、柏図書館においては「友の会」を設け、一步踏み込んだ開放を行っている。

また、各図書館とも東京大学を構成する組織として、オープンキャンパス等の大学行事に参加し、東京大学の認知度を深める活動を行っている。

一般的にイメージされる社会貢献とは、やや趣を異にするが、国立大学図書館協会、国公私立大学図書館協力委員会、JUSTICE(大学図書館コンソーシアム連合)、JPCOAR(オープンアクセスリポジトリ推進協会)などといった、大学図書館の組織体に、職員を委員として派遣するなど、一定の役割を果たしている。

5 組織・運営

東京大学附属図書館は、本郷、駒場、柏の 3 キャンパスの拠点図書館に位置付けられている、総合図書館、駒場図書館、柏図書館に各部局に置かれた図書館・室を合わせた、東京大学内の全図書館を意味する。部局の図書館・室に関しては、施設はもちろん、設備や物品、職員も部局に属する。このことは各部局の図書館・室の機動性を高める側面を持つ一方、各資源で重複投資が必要となるという側面もあり、従来以上に合理化の議論が必要となる。

総合図書館は耐震改修に併せて機能強化を行っているが、学部等の図書館・室についても、耐震改修に併せて機能強化を行っている。一方、駒場図書館が収容能力を超えつつあり、駒場地区での資料の利便性を維持しつつ、資料を適切に運用・管理できる施設・設備について検討する必要性が高まっている。また、柏図書館が平成 16(2004)年度の開館から約 15 年が経過し、施設・設備に障害が発生しつつあり、柏図書館の計画的な修繕についても検討する必要性が高まっている。

IV まとめと今後の課題

文部科学省の Web ページには「大学図書館における先進的な取組の実践例」(http://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jouhou/1341374.htm)として、平成 25(2013)年度以降の、いくつかの大学図書館の特徴的な活動が紹介されており、その中には、旧来の図書館のイメージに必ずしも納まらない活動もある。

また、「はじめに」で述べたように、国立大学図書館協会は平成 28(2016)年度に「国立大学図書館機能の強化と革新に向けて：国立大学図書館協会ビジョン 2020」を採択し、3 つの重点領域を立て、それぞれの領域での目標を掲げているが、1 つ目の重点領域の「知の共有：<蔵書>を超えた知識や情報の共有」では、旧来の図書館資料である図書や雑誌だけではなく、既に多くの大学図書館が機関リポジトリにより公開している研究論文に加え、「学習教材やデータ」なども共有することに触れている。

「学習教材やデータ」に限らず、旧来の図書館資料以外に目を向ければ、大学史料を所掌範囲とする大学図書館も存在する。しかし、東京大学においては、学習教材は大学総合教育研究センター、データは各学部等、大学史料は文書館といった機関が存在し、大学図書館の新たな役割と位置付けられる活動を起こしにくい事情がある。さらに、「学習教材やデータ」を共有しようとするれば、コンピュータやネットワークの環境の整備が不可欠であり、それらの整備は他大学と同様、情報基盤センターの所掌であるだけでなく、共有に十分な機能や性能を考えれば、個々の大学での整備は困難な側面もある。

さて、2 つ目の重点領域は「知の創出：新たな知を紡ぐ<場>の提供」であり、「コミュニケーション」や「コミュニティ」を強く主張している。東京大学附属図書館は、新図書館計画によりアクティブラーニングスペースとしてのライブラリープラザの整備に至ったが、「コミュニケーションの場」まで昇華できていない。東京大学は各学部等に図書館・室があり、総合図書館は全ての教員や学生がサービス対象者である一方、それら教員や学生は別に帰属する図書館・室(ホームライブラリ)を持つため、今後、「コミュニケーションの場」へと昇華させるためには、他大学とは少し異なった方策が必要となる。

このような環境において、3 つ目の重点領域の「新しい人材：知の共有・創出のための<人材>の構築」で述べられている「さまざまな能力やスキルを有する人材」のうち、1 つ目や 2 つ目の重点領域に関する能力やスキルに関しては、いかに伸ばしていくべきかについては、東京大学附属図書館が大学図書館界全体に寄与できる図書館であるために、非常に重要な課題である。

新図書館計画年表(組織, 工事・施設, その他)

平成 22(2010)年度	●9月: 新図書館構想検討準備部会発足, 準備部会の下に5部会を設置
平成 23(2011)年度	●新図書館担当理事懇談会において新図書館構想承認 ●「新図書館構想の骨子」を公開, 利用者を対象とした意見募集実施 ●Academic Commons Projectとしてイベント実施を開始(平成29年度まで)
平成 24(2012)年度	●新図書館計画SC(Steering Committee)を設置 ●フロアプラン検討開始 ●若手職員を中心とした「新図書館課題検討グループ」活動開始 ●来館者アンケート実施 ●東京大学基金「新図書館計画「アカデミック・コモンズ」」による寄附募集開始
平成 25(2013)年度	●新図書館計画推進室設置 ●図書館前広場埋蔵文化財調査開始 ●東京大学新図書館計画公式Webサイトを開設 ●10月: 新図書館計画におけるハイブリッド図書館実証実験の開始に関する記者発表 ●学生サポーターACS(アカデミック・コモンズサポーター)発足
平成 26(2014)年度	●アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門(U-PARL)設置 ●将来計画特別委員会設置 ●基本方針「総合図書館本館改修の考え方」了承(9月16日: 科所長会議) ●別館新設準備工事・本工事着工 ●12月11日: 「東京大学(本郷)アカデミック・コモンズ(仮称)新営工事」起工式 ●図書館団地耐震改修工事I期(社会科学研究所, 情報学環)実施 ●本館1階に「ミニレクチャールーム」設置(平成27年度運用開始) ●台湾漢学リソースセンター(TRCCS)開設(駒場図書館)
平成 27(2015)年度	●「デジタル学術資産アーカイブ構築についての基本方針」を策定 ●図書館団地耐震改修工事II期(図書館西工区, 教育学部)実施 ●自動書庫調達(日本ファイリング) ●インフォメーションルームを設置(平成29年度まで)
平成 28(2016)年度	●学術資産アーカイブ調査を実施 ●学術資産アーカイブ委員会(全学委員会)設置 ●新図書館課題検討グループを「図書館未来デザインプロジェクト」に改組 ●自動書庫設置開始 ●図書館団地耐震改修工事第III-1期(図書館北西工区)実施
平成 29(2017)年度	●新図書館計画の組織体制見直し ●新図書館計画推進室活動終了 ●東京大学学術資産アーカイブ化推進室を設置 ●5月: 別館竣工 ●7月: 工事関係者感謝状贈呈式・見学会 ●8月: 自動書庫設置完了 ●本郷キャンパス内に学習スペースを設置(安田講堂, 山上会館, 医学部1号館) ●図書館団地耐震改修工事第III-2期(図書館中央工区)実施
平成 30(2018)年度	●4月: アジア研究図書館長を配置。アジア研究図書館運営委員会を設置。 ●5月: 自動書庫運用開始 ●10月: 別館ライブラリープラザリニューアルオープン ●図書館団地耐震改修工事第III-3期(図書館書庫工区)実施
令和元(2019)年度	●1月: 図書館団地耐震改修工事第IV期(図書館東工区, 情報学環, 史料編纂所)着工
令和2(2020)年度	●7月: 本館耐震改修工事全工区完了予定

用語解説

ASK サービス

…東京大学附属図書館のオンラインレファレンスサービスで、利用者は Web から参考調査質問を申し込み、メールでその回答を得ることができる。

e-DDS

…**Electronic Document Delivery Service** の略。研究室などの PC からインターネットを利用して読みたい文献を所蔵する図書館へ直接申し込み、文献全文を Web 上で閲覧できるサービス。所蔵図書館は、文献のコピーを取って学内便で送る代わりに、PDF 化した文献ファイルを学内のサーバにアップロードし、申し込み者に直接その URL をメールで知らせる。従来の文献複写申し込みに比べて文献入手までの時間が短く、図書室に行く必要もないというメリットがある。

GIF

…**Global ILL Framework** の略。世界的に情報資源を共有しようとの理念のもとに、国際的な ILL(→ILL)を実現するため仕組及びプロジェクト。日米間と日韓間で稼働していたが、日米間については、平成 30(2018)年 3 月で終了している。

IIIF

…**International Image Interoperability Framework** の略。特定のビューワに依存せず、複数のアーカイブを閲覧可能とするための標準化等を行う国際的な活動。

ILL

…**Inter library Loan** の略。利用者が必要とする資料が自館では提供できない場合に、他の図書館の協力を得て提供する図書館間の協力システムで、具体的には、資料のコピーを所蔵館から取り寄せる文献複写、資料の現物を所蔵館から取り寄せる現物貸借などがあげられる。

JPCOAR

…オープンアクセスリポジトリ推進協会の英名である **Japan Consortium for Open Access Repository** の略。リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進、リポジトリコミュニティの強化、オープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的としている。

JUSTICE

…大学図書館コンソーシアム連合の英名である **Japan Alliance of University Library**

Consortia for E-Resources を元にした同連合の通称。国内の大学の教育・研究活動に必要な電子ジャーナル等の学術情報を安定的・継続的に確保して提供するための活動を推進している。

OPAC

…Online Public Access Catalogue の略。図書館が所蔵する図書や雑誌などの資料をオンラインで検索できる目録データベース。タイトルや著者名などの書誌情報のほかに、資料が配架されている場所や貸出中かどうかの確認もできる。

SSL

…Secure Sockets Layer の略。インターネット上でやりとりされる情報を暗号化する仕組みの 1 つ。

VPN

…Virtual Private Network の略。公共ネットワークから専用ネットワークのような秘密や安全が保証された通信を実現するための仕組み。この仕組みを使うことで、学内アクセス限定の電子ジャーナルやデータベースの一部を、自宅や出張先などの学外からもアクセスできるようになる。

アクティブラーニング

…教える側の一方的な講義形式による教育とは異なり、学ぶ側の主体的・能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。発見学習、問題解決学習、調査学習などをはじめ、グループディスカッションやディベート、グループワークなどがその方法とされる。

オープンアクセス

…インターネットを通じて学術雑誌に掲載された論文をはじめとする学術情報を誰でも無料で閲覧可能な状態にすること。また、それを実現するための運動。1990 年代に学術雑誌の高騰によって学術情報の入手が困難になったこと、インターネットや電子ジャーナルが普及したことを受けて生じてきたとされる。

機関リポジトリ

…大学や研究所などの機関とその構成員が創出した知的成果を電子的に登録・保存し、無料で提供するためのインターネット上の保存書庫。教育研究成果を発信することによる機関のアピール、機関外への情報開示、知的生産物の長期的な保存など、学術情報の円滑な流通のために、大きな役割を果たしている。

コンソーシアム

...一般には、共同の目的にそった活動を行うための、複数の成員(個人、企業、団体など)からなる団体のこと。大学図書館においては、電子ジャーナルの契約条件を交渉したり、共同で購入したりするための、複数の機関が参加する連合体を指す。国内の例としては、500館以上の国公立大学図書館が加入する大学図書館コンソーシアム連合(→JUSTICE)があげられる。

情報リテラシー教育

...情報を主体的に入手したり、活用したりする能力を育成するための教育のこと。情報の探索、評価、利用、発信といった一連のプロセス、データベースの検索法などが含まれる。

全学共通経費

...東京大学の全学的な学術研究教育活動の基盤を支える学術雑誌、電子ジャーナル、データベース及び大型コレクションについて、大学として一括して購入するための経費で、本部から措置される全学的資金と部局拠出金とからなる。この制度は、平成19(2007)年度から開始されている。

全学資料購入集中処理

...図書の購入に係る支払事務手続きを全学的に集中処理し共同購入することで、大学と書店の事務を効率化し、大幅値引きを実現するシステム。東京大学において、平成16(2004)年度に開始され、全学的な図書購入費の削減、調達効率化に大きな成果をあげている。

ディスカバリーサービス

...図書館が提供する書籍や雑誌、電子ジャーナルなどのさまざまな学術情報を、同時に一つのインターフェイスで検索できるサービスのこと。利用者が情報を「Discovery(発見)」するのを支援するという意味がある。

ハイブリッド図書館

...紙媒体の書籍や雑誌の所蔵を中心とする従来型の図書館と、電子的な情報へのアクセスを提供する電子図書館の双方の機能を兼ね備えた図書館のこと。ハイブリッド図書館では、紙と電子それぞれの資料の特性を活かして、これまでになような新しいサービスを提供することが期待されている。

バックファイル

...契約時点より前に発行された電子的なコンテンツのことで、主として電子ジャーナルのバックナンバーのことを指す。アーカイブと同じ意味で使われることも多い。もともと電子形態で刊行

されたものと、紙媒体で生産されたものを電子化したものがある。

レファレンス

...利用者の情報探索や調査研究課題に対して、適切な資料や情報を提供することにより、図書館職員が直接的・間接的に支援するサービスのこと。資料の所蔵調査や探索方法の提示、図書館利用ガイダンスなどサービスの種類や範囲は多岐にわたる。

平成25(2013)年度東京大学附属図書館統計表

平成26(2014)年3月31日現在

職員数	蔵書数						資料費 総額 (千円)	受入資料数						相互利用 (文献複写) 受付(件) 依頼(件)					
	図書			逐次刊行物				図書			逐次刊行物								
	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (種)	欧文 (種)	合計 (種)		和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (種)	欧文 (種)	合計 (種)		館外貸出 (冊)				
常勤(人)	12	6	267,202	499,308	766,510	2,200	3,716	5,916	3,862	5,077	8,939	4,523	710	1,077	1,787	1,262	0	535	300
非常勤(人)	1	4	58,107	803	58,910	7,660	31	7,691	57	0	57	1	152	0	152	7	0	258	0
	10	6	114,445	169,655	284,100	3,069	2,193	5,262	2,152	901	3,053	1,126	694	295	989	498	12,866	8,917	1,423
	12	15	159,362	238,538	397,900	4,374	3,537	7,911	1,920	955	2,875	2,477	1,077	636	1,713	1,060	35,136	806	513
	5	18	530,547	569,617	1,100,164	8,730	4,534	13,264	10,859	6,609	17,468	5,470	499	971	1,470	1,143	14,441	1,134	627
	5	9	42,827	190,197	233,024	1,547	3,291	4,838	685	1,926	2,611	589	289	366	655	345	9,512	324	64
	11	4	241,674	168,271	409,945	6,693	5,334	12,027	4,554	2,391	6,945	1,209	1,528	1,336	2,864	1,452	17,188	4,254	260
	11	10	497,603	325,985	823,588	11,200	4,661	15,861	8,853	2,553	11,406	3,413	671	464	1,135	556	23,685	349	83
	15	23	563,550	518,904	1,082,454	2,516	4,171	6,687	12,645	4,774	17,419	8,442	703	1,124	1,827	1,472	176,108	853	1,436
	1	2	7,500	65,916	73,416	144	1,094	1,238	157	581	738	509	65	75	140	70	1,873	0	0
	3	4	86,495	65,260	151,755	3,436	1,089	4,525	1,785	1,487	3,272	1,017	617	229	846	390	16,504	1,026	578
	2	1	11,506	32,410	43,916	407	465	872	504	364	868	227	106	54	160	67	2,510	576	234
	2	3	14,494	131,052	145,546	135	1,584	1,719	263	2,325	2,588	970	31	568	599	360	8,627	194	15
	2	3	70,022	54,739	124,761	1,390	1,364	2,754	281	184	465	268	190	92	282	156	5,560	621	100
	2	1	13,261	4,962	18,223	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	4,289	37,616	41,905	325	881	1,206	19	365	384	381	19	30	49	22	22	235	504
	2	1	20,220	34,323	54,543	1,133	1,164	2,297	558	378	936	57	248	147	395	110	1,426	168	17
	5	5	495,437	185,054	680,491	2,457	6,540	8,997	5,711	1,352	7,063	3,656	358	831	1,189	546	240	422	41
	8	0	204,467	139,257	343,724	5,068	2,982	8,050	1,708	1,087	2,795	2,443	840	363	1,203	606	10,729	166	44
	2	0	58,782	94,559	153,341	978	1,536	2,514	882	114	143	99	347	151	498	28	1,439	95	134
	6	9	513,529	15,579	529,108	2,725	294	3,019	3,861	155	4,016	821	1,337	37	1,374	112	0	223	7
	0	1	972	23,224	24,196	21	214	235	7	334	341	341	12	62	74	70	141	9	8
	2	1	6,602	58,131	64,733	94	635	729	322	815	1,137	474	36	32	68	59	4,485	191	7
	1	3	24,319	41,224	65,543	1,629	1,214	2,843	371	724	1,095	84	403	357	760	173	673	287	36
	0	2	6,022	2,169	8,191	1,512	510	2,022	0	541	11	552	0	415	110	525	0	0	0
	1	2	16,855	30,253	47,108	80	414	494	311	199	510	391	16	8	24	17	1,188	16	16
	121	133	4,030,089	3,697,006	7,727,095	69,523	53,448	122,971	62,100	35,576	97,676	38,988	11,363	9,415	20,778	10,575	344,353	21,659	6,447
	39	12	808,230	428,955	1,234,185	11,482	9,642	21,124	8,906	2,291	11,197	8,472	2,664	552	3,216	263	134,771	2,121	118
	5	0	105,767	282,999	388,766	6,600	15,563	22,163	7,343	3,955	11,298	2,654	10	19	29	16	32,550	989	97
	165	145	4,944,086	4,405,960	9,350,046	87,605	78,653	166,258	78,349	41,822	120,171	50,114	14,037	9,986	24,023	10,854	511,674	24,769	6,662

(社)日本図書館協会大学図書館調査より
(ただし、職員数は附属図書館職員名簿(平成26(2014)年4月11日現在)より)

平成26(2014)年度東京大学附属図書館統計表

	職員数		蔵書数						受入資料数						相互利用					
	常勤 (人)	非常勤 (人)	図書			逐次刊行物			和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	(内購入)	逐次刊行物		冊	(件)				
			和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (冊)	欧文 (冊)	合計 (冊)					和文 (冊)	欧文 (冊)						
																	資料費 総額 (千円)	合計 (冊)	和文 (冊)	欧文 (冊)
大学院法政学政治学研究科・法学部図書研究室	12	6	272,451	509,744	782,195	2,221	3,736	5,957	70,907	5,352	15,869	4,735	742	1,033	1,775	1,245	0	549	292	
近代日本法政史料センター	1	4	61,839	819	62,658	7,797	0	7,797	86	82	84	0	169	0	169	1	0	431	0	
医学図書館	10	5	109,073	165,651	274,724	2,401	2,002	4,403	22,364	2,049	2,334	1,003	648	236	884	438	16,513	7,346	1,457	
工学情報理工学図書館	12	16	160,780	239,931	400,711	4,298	3,519	7,817	16,603	1,987	3,976	2,730	996	621	1,617	1,047	35,316	688	249	
大学院人文社会学系研究科・文学部図書研究室	6	17	538,080	573,140	1,111,220	9,248	4,541	13,789	62,732	7,760	11,919	4,617	503	969	1,472	1,142	14,854	894	734	
大学院理学系研究科・理学部図書研究室	5	10	42,175	190,656	232,831	1,440	3,241	4,681	17,104	735	2,190	498	355	377	732	344	8,961	411	189	
農学生命科学図書館	10	4	248,009	169,530	417,539	7,046	5,358	12,404	50,012	6,546	7,625	927	1,435	1,112	2,547	1,148	16,818	4,043	249	
経済学図書館	11	9	503,304	327,941	831,245	11,237	4,693	15,930	30,523	7,625	9,324	2,388	662	455	1,117	544	21,954	419	60	
駒場図書館・大学院総合文化研究科図書館・自然科学学図書室	15	24	571,638	523,086	1,094,724	2,545	4,240	6,785	48,357	10,940	15,122	6,885	699	1,042	1,741	1,386	175,932	849	1,153	
グローバル地域研究機構	1	2	8,409	67,427	75,836	144	1,094	1,238	3,420	663	1,307	263	64	66	130	64	1,717	0	0	
大学院教育学研究科・教育学部図書研究室	3	4	88,871	66,658	155,529	3,045	1,087	4,132	10,249	3,176	4,923	869	591	224	815	383	15,607	1,043	571	
薬学図書館	2	1	11,658	32,982	44,640	379	464	843	9,603	311	603	181	101	50	151	60	2,445	480	93	
大学院数理科学研究科図書研究室	2	3	16,134	131,807	147,941	132	1,593	1,725	33,331	665	2,667	730	26	549	575	357	8,794	207	7	
大学院情報学環・学際情報学府図書研究室	2	4	70,661	54,740	125,401	1,390	1,364	2,754	1,987	908	264	1,172	788	179	88	267	152	5,524	1,367	
社会情報研究資料センター	0	4	13,615	5,058	18,673	0	0	0	3,265	354	96	450	150	0	0	0	0	0	0	
医科学研究所図書室	2	1	4,329	37,763	42,092	325	876	1,201	1,116	40	147	186	19	25	44	17	94	230	369	
地震研究所図書室	2	1	21,161	35,199	56,360	1,199	1,250	2,449	2,038	964	996	77	245	143	388	107	806	147	10	
東洋文化研究所図書室	5	5	497,696	186,866	684,562	2,700	7,179	9,879	9,371	2,275	1,828	2,481	429	732	1,161	537	195	487	40	
社会科学研究所図書室	8	0	205,895	140,374	346,269	5,092	2,216	7,308	12,482	2,148	3,412	1,068	825	358	1,183	606	9,246	209	10	
生産技術研究所図書室	2	0	58,882	94,658	153,540	978	1,536	2,514	791	100	99	137	347	151	498	28	1,081	60	96	
史料編纂所図書室	6	10	516,829	15,736	532,565	2,752	290	3,042	5,807	3,300	157	656	1,348	38	1,386	104	0	179	22	
宇宙線研究所図書室	0	1	975	23,282	24,257	21	214	235	7,394	3	58	61	12	62	74	70	126	24	4	
物性研究所図書室	2	1	6,753	58,332	65,085	94	635	729	8,780	255	801	450	35	34	69	58	4,166	123	6	
大気海洋研究所図書室	1	3	21,926	36,221	58,147	1,633	1,198	2,831	3,495	348	531	879	135	422	689	101	599	214	46	
総合研究博物館図書室	0	1	6,890	2,217	9,107	705	275	980	0	336	18	354	0	261	70	331	33	0	7	
先端科学技術研究センター図書室	1	2	16,876	30,437	47,313	80	414	494	2,452	184	21	195	16	8	24	17	1,231	19	48	
部局図書館(室) 計	121	134	4,074,909	3,720,255	7,795,164	68,902	53,015	121,917	434,869	59,106	37,306	96,412	32,210	11,129	8,710	19,839	9,956	342,012	20,419	6,218
総合図書館	39	15	818,339	432,347	1,250,686	11,835	9,685	21,520	1,296,480	10,394	6,452	16,846	9,574	2,599	527	3,126	265	122,374	2,370	152
柏図書館	5	1	115,427	289,532	404,959	7,100	15,861	22,961	16,795	5,348	6,533	11,881	1,694	10	19	29	16	32,681	956	56
総計	165	150	5,008,675	4,442,134	9,450,809	87,837	78,561	166,398	1,748,144	74,848	50,291	125,139	43,478	13,738	9,256	22,994	10,237	497,067	23,745	6,426

(社)日本図書館協会大学図書館調査より
(ただし、職員数は附属図書館職員名簿(平成27(2016)年4月21日現在)より)

平成27(2015)年度東京大学附属図書館統計表

	職員数		蔵書数				資料費				受入資料数				相互利用				
	常勤 (人)	非常勤 (人)	図書		逐次刊行物		総額 (千円)	図書		逐次刊行物		館外貸出 (冊)	相互利用 (文献複写)						
			和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (冊)		欧文 (冊)	合計 (冊)	和文 (冊)	欧文 (冊)		合計 (冊)	受付 (件)	依頼 (件)				
大学院法学政治学研究科・法学部研究室図書室	11	6	276,486	514,627	791,113	2,275	3,754	6,029	4,191	5,267	9,458	4,505	743	1,026	1,769	1,232	0	557	288
近代日本法政史料センター	2	4	58,213	805	59,018	7,865	31	7,896	0	24	24	0	131	0	131	0	0	388	-
医学図書館	10	5	106,037	165,875	271,912	1,979	1,992	3,971	2,171	300	2,471	2,019	652	205	857	416	17,784	5,853	1,285
工学・情報理工学図書館	12	14	161,691	239,988	401,679	4,319	3,551	7,870	2,138	1,824	3,962	2,776	1,013	581	1,594	1,015	34,262	693	247
大学院人文社会科学系研究科・文学部図書室	6	18	544,039	579,094	1,123,133	9,321	4,558	13,879	6,839	6,118	12,957	4,726	595	937	1,532	1,110	16,849	1,032	596
大学院理学系研究科・理学部図書室	5	10	41,863	187,689	229,552	970	3,216	4,186	672	1,621	2,293	751	297	314	611	263	8,765	395	80
農学生命科学図書館	11	4	250,502	169,920	420,422	7,361	5,369	12,730	2,515	390	2,905	1,063	1,416	1,081	2,497	1,136	13,614	3,497	135
経済学図書館	9	10	505,551	328,707	834,258	11,266	4,717	15,983	3,763	1,527	5,290	2,281	635	359	994	449	22,086	280	187
駒場図書館・大学院総合文化研究科図書館・自然科学図書館	14	22	586,979	523,739	1,110,718	2,569	4,276	6,845	14,797	4,248	19,045	7,129	679	713	1,392	1,019	170,858	741	885
グローバル地域研究機構	1	2	8,492	67,870	76,362	144	1,094	1,238	85	441	526	246	41	59	100	61	2,503	-	-
大学院教育学研究科・教育学部図書室	3	4	89,291	66,363	155,654	2,823	1,123	3,946	2,343	548	2,891	772	468	201	669	359	12,547	769	606
薬学図書館	2	1	11,959	33,276	45,235	378	464	842	316	305	621	238	99	35	134	45	2,719	339	67
大学院数理科学研究科図書室	2	3	15,335	134,723	150,058	135	1,667	1,802	255	1,906	2,161	659	27	535	562	354	8,345	160	2
大学院情報学際・学際情報学府図書室	2	4	70,870	54,887	125,757	1,390	1,364	2,754	615	227	842	159	161	83	244	139	5,399	548	154
社会情報研究資料センター	0	4	13,783	5,070	18,853	0	0	0	1,467	168	180	0	0	0	0	0	0	0	0
医学研究所図書室	2	1	4,329	36,950	41,279	325	858	1,183	239	0	0	0	19	25	44	23	100	76	122
地震研究所図書室	2	1	21,715	35,378	57,093	1,200	1,254	2,454	559	189	748	60	242	141	383	104	896	120	15
東洋文化研究所図書室	5	5	499,923	188,425	688,348	2,700	7,213	9,913	8,140	2,392	3,983	1,977	427	730	1,157	534	252	378	40
社会科学研究所図書室	7	0	207,268	139,184	346,452	5,082	2,188	7,270	2,476	1,241	3,717	1,281	770	320	1,090	554	10,171	191	34
生産技術研究所図書室	2	0	59,053	94,745	153,798	982	1,541	2,523	84	87	171	134	128	136	264	140	623	50	83
史料編纂所図書室	6	9	519,521	15,983	535,504	2,830	288	3,118	6,940	2,692	2,939	710	1,436	37	1,473	105	0	180	12
宇宙線研究所図書室	0	1	980	23,309	24,289	21	214	235	5	27	32	32	12	58	70	66	151	24	3
物性研究所図書室	2	1	6,819	58,637	65,456	94	635	729	225	380	605	405	34	8	42	32	4,533	126	5
大気海洋研究所図書室	1	3	22,281	36,711	58,992	1,641	1,199	2,840	341	449	790	218	420	274	694	98	579	179	45
総合研究博物館図書室	1	1	7,271	2,221	9,492	715	336	1,051	0	381	385	0	265	75	340	0	63	0	18
先端科学技術研究センター図書室	1	2	17,312	30,280	47,592	80	414	494	153	126	279	253	15	7	22	15	1,509	9	60
部局図書館(室)計	119	131	4,107,263	3,734,426	7,841,689	68,465	53,316	121,781	50,200	29,075	79,275	32,394	10,725	7,940	18,665	9,269	334,608	16,585	4,969
総合図書館	38	13	826,684	437,542	1,264,226	11,815	9,755	21,570	9,446	5,340	14,786	9,600	2,559	496	3,055	356	153,479	2,217	104
柏園図書館	5	2	121,232	293,975	415,207	7,580	15,949	23,529	8,661	3,989	12,660	1,844	28	19	47	16	35,669	773	41
総計	162	146	5,055,179	4,465,943	9,521,122	87,860	79,020	166,880	68,307	38,414	106,721	43,838	13,312	8,455	21,767	9,641	523,756	19,575	5,114

(社)日本図書館協会大学図書館調査より
(ただし、職員数は附属図書館職員名簿(平成28(2016)年4月11日現在)より)

平成28(2016)年度東京大学附属図書館統計表

平成29(2017)年3月31日現在

	職員数		蔵書数				資料費				受入資料数				相互利用							
	常勤 (人)	非常勤 (人)	図書		逐次刊行物		総額 (千円)	図書		逐次刊行物		和文 (冊)	英文 (冊)	合計 (冊)	館外貸出 (冊)	交付依頼 (件)						
			和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (冊)		英文 (冊)	合計 (冊)	和文 (冊)	英文 (冊)						合計 (冊)					
																		和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (冊)	英文 (冊)
大学院法政学政治学研究科・法学部研究室図書室	11	6	282,636	519,960	802,596	3,768	2,305	3,768	6,073	91,987	6,150	5,333	11,483	4,955	701	766	1,467	920	0	520	258	
近代日本法政史料センター	2	4	58,313	822	59,135	7,979	39	8,018	111	100	100	17	117	19	83	0	83	1	0	0	306	0
医学図書室	10	5	108,043	164,311	272,354	1,988	1,990	3,978	19,136	2,184	2,184	189	2,373	2,154	627	215	842	415	17,928	5,263	1,045	
工学・情報理工学図書室	12	15	163,418	240,079	403,497	4,818	3,581	8,399	17,107	2,325	2,325	1,495	3,820	2,654	899	134	1,033	469	39,472	520	237	
大学院人文社会科学系研究科・文学部図書室	5	19	549,623	580,648	1,130,271	9,386	4,576	13,962	58,360	6,079	5,784	11,863	4,445	603	635	1,238	805	19,426	948	796		
大学院理学系研究科・理学部図書室	5	10	40,833	182,220	223,053	969	3,174	4,143	17,965	317	1,364	1,681	649	257	199	456	194	10,201	273	93		
農学生命科学図書室	11	4	252,759	171,748	424,507	7,586	5,395	12,981	35,414	2,452	1,835	4,287	1,011	1,331	688	2,019	700	12,704	2,595	118		
経済学図書室	9	11	507,742	329,995	837,737	11,329	4,742	16,071	29,866	3,356	1,595	4,951	2,505	598	258	856	330	20,546	389	209		
駒場図書館・大学院総合文化研究科図書室・自然科学図書室	15	22	599,736	524,036	1,123,772	4,278	2,569	6,847	46,295	13,186	3,608	16,794	6,573	674	662	1,336	974	172,931	652	919		
グローバル地域研究機構	1	2	8,597	68,604	77,201	144	1,094	1,238	4,286	106	750	856	261	48	62	110	63	2,261				
大学院教育学研究科・教育学部図書室	2	5	90,191	66,873	157,064	2,831	1,124	3,955	10,015	891	508	1,399	652	429	105	534	257	9,559	282	592		
薬学図書室	2	1	12,291	34,665	46,956	386	466	852	1,822	338	1,394	1,732	181	87	7	94	9	2,303	266	84		
大学院数理科学研究科図書室	2	3	15,156	133,163	148,319	130	1,613	1,743	41,830	207	2,414	2,621	2,521	25	473	498	303	7,361	130	4		
大学院情報学環・学際情報学府図書室	2	4	71,290	55,028	126,278	1,392	1,364	2,756	2,254	680	171	851	316	163	85	248	139	4,509	504	272		
社会情報研究資料センター	0	4	14,074	5,070	19,144	0	0	0	1,377	291	0	291	0	0	0	0	0	0	102	0		
医学研究所図書室	2	1	4,226	25,159	29,385	325	851	1,176	146	0	0	0	0	0	14	5	19	37	19	172		
地震研究所図書室	2	1	22,180	36,784	58,964	1,208	1,307	2,515	1,869	465	1,406	1,871	63	220	94	314	37	833	95	4		
東洋文化研究所図書室	5	5	502,411	190,185	692,596	2,706	7,222	9,928	11,693	2,488	1,760	4,248	1,679	420	593	1,013	396	301	306	19		
社会科学研究所図書室	8	0	209,275	140,014	349,289	5,171	2,217	7,388	13,722	2,063	890	2,953	1,177	674	180	854	343	8,801	158	58		
生産技術研究所図書室	2	0	60,121	94,284	154,405	1,045	1,488	2,533	854	1,421	130	1,551	64	120	8	128	14	911	74	71		
史料編纂所図書室	6	9	518,155	19,681	537,836	2,847	287	3,134	6,630	2,777	98	2,875	552	1,419	35	1,454	100	0	185	24		
宇宙線研究所図書室	0	1	986	23,357	24,343	21	214	235	10,931	6	48	54	54	12	57	69	65	147	14	2		
物性研究所図書室	2	1	7,022	58,907	65,929	94	635	729	10,559	173	142	315	305	36	7	43	34	4,069	78	5		
大気海洋研究所図書室	1	3	22,611	36,137	58,748	1,643	1,202	2,845	4,745	429	323	752	257	425	226	651	48	520	149	36		
総合研究博物館図書室	1	1	7,705	2,225	9,930	723	346	1,069	0	430	4	434	0	260	59	319	0	52	0	4		
先端科学技術研究センター図書室	1	2	17,456	30,294	47,750	80	414	494	1,633	158	44	202	189	15	7	22	15	2,150	2	37		
部局図書室(室) 計	119	135	4,146,810	3,734,249	7,881,059	69,675	53,387	123,062	440,607	49,072	31,302	80,374	33,236	10,140	5,560	15,700	6,636	337,022	13,830	5,059		
総合図書室	38	17	833,204	441,246	1,274,450	11,861	9,787	21,648	1,351,944	6,973	3,989	10,962	6,826	2,510	449	2,959	224	147,411	2,559	139		
柏園図書室	5	2	123,588	298,164	421,752	7,647	16,028	23,675	17,117	2,356	4,189	6,545	1,436	30	16	46	20	31,746	538	43		
総計	162	154	5,103,602	4,473,659	9,577,261	89,183	79,202	168,385	1,809,668	58,401	39,480	97,881	41,498	12,680	6,025	18,705	6,880	516,179	16,927	5,241		

(社)日本図書館協会 大学図書館調査より
(ただし、職員数は附属図書館職員名簿(平成29(2017)年4月1日現在)より)

平成29(2017)年度東京大学附属図書館統計表

平成30(2018)年3月31日現在

	職員数		蔵書数				資料費				受入資料数				相互利用					
	常勤 (人)	非常勤 (人)	図書		逐次刊行物		総額 (千円)	図書		逐次刊行物		舶外貸出 (冊)	受付 (件)		依頼 (件)					
			和書 (冊)	洋書 (冊)	和文 (冊)	欧文 (冊)		合計 (冊)	和文 (冊)	欧文 (冊)	合計 (冊)		和文 (冊)	欧文 (冊)		合計 (冊)	内購入 (冊)			
大学院法政学政治学研究所・法学部研究室図書室	11	6	286,927	525,364	812,291	2,323	3,790	6,113	92,886	4,357	5,593	9,950	3,722	694	726	1,420	893	—	521	239
近代日本法政史料センター	2	4	58,382	822	59,204	8,004	39	8,043	124	69	0	69	4	114	0	114	0	—	411	0
医学図書館	10	5	109,946	163,661	273,607	2,005	1,992	3,997	20,973	2,042	148	2,190	1,888	587	47	634	222	17,246	5,338	797
工学・情報理工学図書館	12	15	164,904	240,704	405,608	4,027	3,490	7,517	18,082	2,294	1,213	3,507	1,785	889	150	1,039	476	42,236	614	142
大学院人文社会科学系研究科・文学部図書室	5	19	553,144	585,690	1,138,834	9,430	4,595	14,025	62,319	5,105	5,305	10,410	4,065	605	619	1,224	784	19,943	770	559
大学院理学系研究科・理学部図書室	5	8	40,734	182,369	223,103	996	3,175	4,171	13,136	353	839	1,192	488	274	175	449	190	9,209	134	78
農学生命科学図書館	10	4	257,471	173,973	431,444	7,704	5,425	13,129	34,600	4,969	2,270	7,239	1,354	1,294	671	1,965	683	11,857	2,724	152
経済学図書館	8	11	510,359	331,372	841,731	11,382	4,759	16,141	28,348	5,863	1,398	7,261	2,506	578	232	810	304	19,804	181	92
駒場図書館・大学院総合文化研究科図書・自然科学図書室	15	21	611,635	528,546	1,140,181	2,622	4,331	6,953	52,257	12,444	4,932	17,376	7,309	670	658	1,328	964	171,321	744	759
グローバル地域研究機構	1	2	8,709	69,127	77,836	144	1,094	1,238	4,661	112	523	635	298	35	59	94	61	2,561		
大学院教育学研究科・教育学部図書室	3	5	97,823	66,982	164,805	2,840	1,118	3,958	8,957	1,242	281	1,523	569	435	94	529	243	11,970	457	634
薬学図書館	2	1	12,576	35,898	48,474	985	468	853	2,202	329	1,244	1,573	210	87	7	94	9	2,340	216	97
大学院数理科学研究科図書室	2	3	15,354	135,205	150,559	131	1,612	1,743	38,150	198	2,042	2,240	2,084	25	467	492	301	7,382	146	2
大学院情報学際・学際情報学府図書室	2	4	71,806	55,164	126,970	1,392	1,363	2,755	2,366	717	627	1,344	311	168	46	214	61	4,321	608	101
社会情報研究資料センター	0	4	14,201	5,082	19,283	0	0	0	1,559	127	12	139	109	0	0	0	0	—	45	0
医科学研究所図書室	2	0	4,208	14,418	18,626	225	349	574	156	0	0	0	0	13	6	19	6	83	8	188
地震研究所図書室	2	1	22,349	37,009	59,358	1,223	1,297	2,520	1,092	170	226	396	37	195	77	272	36	897	69	17
東洋文化研究所図書室	5	5	504,356	192,535	696,891	2,708	7,193	9,901	11,183	2,047	2,368	4,415	1,619	409	587	996	394	403	289	125
社会科学研究所図書室	8	0	211,413	140,865	352,278	5,294	2,223	7,517	14,213	2,165	864	3,029	1,230	666	171	837	205	8,646	145	83
生産技術研究所図書室	2	0	63,228	94,528	157,756	1,052	1,485	2,537	963	1,138	295	1,433	210	149	5	154	7	663	102	41
史料編纂所図書室	6	9	524,226	16,189	540,415	2,875	286	3,161	7,815	2,471	108	2,579	805	1,458	35	1,493	99	—	162	15
宇宙線研究所図書室	0	1	991	23,390	24,381	21	214	235	10,359	5	33	38	38	12	57	69	65	114	25	4
物性研究所図書室	2	1	7,252	59,150	66,402	95	635	730	11,364	246	267	513	403	37	6	43	34	3,977	88	3
大気海洋研究所図書室	1	3	23,012	36,308	59,320	1,644	1,199	2,843	5,126	401	171	572	276	450	208	658	49	547	116	31
総合研究博物館図書室	1	1	8,051	2,228	10,279	732	347	1,079	0	346	3	349	0	216	54	270	0	119	0	4
先端科学技術研究センター図書室	2	2	17,921	30,461	48,382	80	414	494	1,693	425	179	604	234	14	3	17	10	2,505	4	33
部局図書館(室)計	119	131	4,200,978	3,747,040	7,948,018	69,334	52,893	122,227	444,584	49,635	30,941	80,576	31,554	10,074	5,160	15,234	6,096	338,144	13,917	4,196
総合図書館	37	16	840,380	445,081	1,285,461	11,760	9,743	21,503	1,380,546	8,293	4,022	12,315	7,755	1,895	265	2,160	222	114,924	2,650	82
柏園図書館	5	2	126,390	305,943	432,333	7,691	16,186	23,877	12,989	2,802	7,779	10,581	1,663	27	18	45	22	31,822	725	38
総計	161	149	5,167,748	4,498,064	9,665,812	88,785	78,822	167,607	1,838,119	60,730	42,742	103,472	40,972	11,996	5,443	17,439	6,340	484,890	17,292	4,316

(社)日本図書館協会大学図書館調査より
(ただし、職員数は附属図書館職員名簿(平成30(2018)年4月1日現在)より)

平成30(2018)年度東京大学附属図書館統計表

平成31(2019)年3月31日現在

	職員数		蔵書数						資料費						受入資料数						相互利用	
	常勤 (人)	非常勤 (人)	図書			逐次刊行物			合計 (千円)	図書			逐次刊行物			合計 (冊)	館外貸出 (冊)	依頼 (件)				
			和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	和文 (冊)	欧文 (冊)	合計 (冊)		和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	(内購入) (冊)	和文 (冊)	欧文 (冊)				合計 (冊)			
																				和文 (冊)	欧文 (冊)	合計 (冊)
大学院法政学政治学研究科・法学部研究室図書室	11	6	290,971	530,310	821,281	2,334	3,799	6,133	95,640	4,201	5,467	9,668	5,209	683	713	1,396	876	—	488	204		
近代日本法政史料センター	2	4	58,418	823	59,241	8,029	39	8,068	106	36	1	37	0	79	0	79	0	—	245	1		
医学図書室	10	5	111,917	162,757	274,674	2,009	1,947	3,956	20,070	2,098	164	2,262	2,013	574	42	616	217	16,281	4,699	886		
工学・情報理工学図書室	12	15	167,135	244,126	411,261	4,045	3,486	7,531	21,074	2,825	3,761	6,586	2,177	823	150	973	428	42,148	578	125		
大学院人文社会科学系研究科・文学部図書室	5	19	657,936	590,739	1,148,675	9,448	4,643	14,091	57,717	5,151	5,383	10,534	3,608	581	616	1,197	781	19,379	713	598		
理学図書室	5	8	40,604	182,193	222,797	1,516	4,360	5,876	13,855	487	592	1,079	513	216	234	450	113	7,732	95	26		
農学生命科学図書室	10	4	292,013	176,239	468,252	7,778	5,436	13,214	32,297	5,983	2,770	8,753	1,221	1,163	527	1,690	669	11,694	2,066	224		
経済学図書室	8	13	511,073	332,084	843,157	11,406	4,768	16,174	31,979	3,237	1,190	4,427	2,450	555	231	786	303	20,547	259	143		
駒場図書室・大学院総合文化研究科図書室・自然科学図書室	15	21	619,076	534,128	1,153,204	2,628	4,349	6,977	46,826	8,046	6,287	14,333	6,921	699	634	1,333	934	176,487	688	727		
グローバル地域研究機構	1	2	8,828	69,557	78,385	144	1,094	1,238	3,824	119	430	549	256	46	60	106	53	2,305	—	—		
大学院教育学研究科・教育学部図書室	3	5	100,704	67,312	168,016	2,892	1,122	4,014	10,413	3,036	324	3,360	527	417	84	501	227	13,731	681	280		
薬学図書室	2	1	13,273	36,384	49,657	457	468	925	1,825	705	489	1,194	174	87	4	91	10	2,233	174	98		
大学院数理科学研究科図書室	2	3	15,196	137,056	152,252	135	1,619	1,754	39,334	161	2,447	2,608	1,939	25	465	490	302	6,356	168	1		
大学院情報学環・学際情報学府図書室	2	4	72,113	55,615	127,728	1,392	1,363	2,755	3,265	668	484	1,152	301	156	44	200	101	4,294	381	127		
社会情報研究資料センター	0	4	12,102	5,094	17,196	0	0	0	2,411	394	12	406	141	0	0	0	0	—	61	0		
医学研究所図書室	1	1	2,705	7,204	9,909	200	211	411	150	0	0	0	0	12	6	18	6	41	22	153		
地震研究所図書室	2	1	22,524	37,126	59,650	1,225	1,305	2,530	1,344	175	117	292	51	123	26	149	33	910	42	6		
東洋文化研究所図書室	5	5	506,511	194,622	701,133	2,714	7,214	9,928	12,137	2,171	2,093	4,264	1,620	329	545	874	392	290	231	65		
社会科学研究所図書室	7	0	213,187	141,775	354,962	5,320	2,226	7,546	15,078	1,807	972	2,779	1,416	655	164	819	317	6,901	63	14		
生産技術研究所図書室	2	0	63,377	94,577	157,954	1,068	1,502	2,570	942	170	49	219	118	713	37	750	70	782	52	23		
史料編纂所図書室	6	9	527,461	16,267	543,728	2,916	286	3,202	7,800	3,235	78	3,313	696	1,443	36	1,479	104	—	196	24		
宇宙線研究所図書室	0	1	994	23,432	24,426	21	214	235	12,082	3	42	45	45	12	56	68	64	114	20	11		
物性研究所図書室	2	1	7,417	59,262	66,679	97	635	732	9,882	212	234	446	327	36	5	41	33	3,377	54	1		
大気海洋研究所図書室	1	3	23,349	36,505	59,854	1,655	1,196	2,851	4,976	337	197	534	241	370	188	558	48	521	76	20		
総合研究博物館図書室	1	1	8,389	2,235	10,624	733	350	1,083	0	338	7	345	0	239	49	288	0	21	0	8		
先端科学技術研究センター図書室	2	2	18,091	30,626	48,717	80	414	494	1,447	210	165	375	132	12	3	15	9	2,929	5	58		
部局図書室(室) 計	117	134	4,235,364	3,768,048	8,003,412	70,242	54,046	124,288	446,474	45,805	33,755	79,560	32,096	10,048	4,919	14,967	6,090	339,073	12,057	3,823		
総合図書室	39	17	848,050	448,911	1,296,961	11,738	9,768	21,506	1,451,472	8,214	3,876	12,090	8,233	1,454	223	1,677	206	135,076	2,308	28		
栢園図書室	5	2	130,266	315,020	445,286	7,732	16,349	24,081	12,087	1,913	1,143	3,056	1,551	27	18	45	22	29,227	719	28		
総計	161	153	5,213,680	4,531,979	9,745,659	89,712	80,163	169,875	1,910,033	55,932	38,774	94,706	41,850	11,529	5,160	16,689	6,318	503,376	15,084	3,879		

(社)日本図書館協会(平成31(2019)年4月24日現在より)

(ただし、職員数は附属図書館職員名簿(平成31(2019)年4月24日現在)より)

自己点検評価実施委員会委員

自己点検評価実施委員会

熊野 純彦	附属図書館長(委員長)
古城 佳子	附属図書館副館長
石田 淳	駒場図書館長
味 埜 俊	柏図書館長
小野塚 知二	アジア研究図書館長・附属図書館研究開発室員
高井 まどか	図書館行政商議会委員(大学院工学系研究科)
橋本 鉦市	図書館行政商議会委員(大学院教育学研究科)
林 知更	図書館行政商議会委員(社会科学研究所)
新谷 昌人	図書館行政商議会委員(地震研究所)
齊藤 宣一	図書館行政商議会委員(大学院数理科学研究科)

自己点検評価ワーキンググループ

江川 和子	事務部長
森 一郎	総務課長(主査)
細川 聖二	情報管理課長
大澤 正男	情報サービス課長
山崎 裕子	柏地区図書館長
井上 恵美	教養部等図書館長
石川 一樹	情報管理課専門員
原 香寿子	情報サービス課専門員
大澤 類里佐	総務課主査
黒沢 健二	総務課副課長(事務局)